

ありがとう、岸本小学校

143年の歴史に幕

岸本小学校の沿革の概要

明治8年	9月	岸本番所(清藤邸跡)に公立岸本小学校創立
明治13年	6月	現在地に移転。畠中氏の酒倉を改造して校舎とする
明治19年	4月	岸本村立岸本尋常小学校と改称
明治29年	4月	岸本町立岸本尋常小学校と改称
明治38年	9月	校舎一棟を新築
明治45年	1月	校舎火災。全焼する
大正1年	9月	校舎新築完成
昭和12年		宇田耕一氏寄付により講堂「宇田会館」新築
昭和16年	4月	岸本国民学校と改称
昭和22年	4月	岸本町立岸本小学校と改称
昭和30年	4月	町村合併により香我美町立岸本小学校と改称
昭和38年	12月	「岸本小こどものうた」ができる
昭和49年	6月	新校舎完成。ランチルーム給食開始
昭和56年	4月	「岸本小こどものうた」を校歌に制定 宇田会館を取り壊し、運動場として拡張
平成7年	6月	宇田会館記念碑完成
平成13年	12月	創立120周年記念式典
平成18年	3月	記念誌「宇多の松原」刊行
平成29年	8月	2・3年複式学級となる
平成31年	3月	町村合併により香南市立岸本小学校と改称 香我美小学校との統合に向け「岸本小・香我美小統合準備会」を設置 閉校式典

閉校によせて

岸本小学校は1875年(明治8)年9月に児童数99人で開校し、1916年(大正5年)には児童数264人を数えるまでになり、143年の間に、2,376人の卒業生を輩出してきましたが、平成の時代が終わるとともに閉校することになりました。閉校式典には、地域、保護者、卒業生の方々をはじめたくさんの方々にご出席いただき本当にありがとうございました。

私の今の思いは、今日に至るまで、岸本小学校を慈しみ、育み、共に歩んできてくださった皆さまへの「感謝」の気持ちです。地域や保護者のみならず、岸本の子どものために、いつも心ひとつに、永年にわたって、一緒に学校をつくっていただきました。地域や保護者の皆さまと学校が、子どもたちのために共に歩めたことは、私たち教職員にとって、とても心強いことでした。

そして、私たち教職員の最大の幸せは、岸本の子どもたちと出会えたこと、同じ屋根の下で、一緒にこの岸本小学校で過ごせたことです。子どもたちは立派に成長しました。一人ひとりが、私たちの誇りです。今の自分に自信をもって、これから進んでいってください。

第28代校長 山岡 寛仁



児童全員による呼びかけ「ありがとう岸本小学校」

岸本小学校は、明治8年に創立。143年間で2,376人の卒業生を送り出してきました。しかしながら、人口減少や少子化に加え、南海トラフ巨大地震による津波の影響を考慮し、143年の歴史に幕を引くことになりました。3月22日(金)に行われた閉校式典には、地域の方や卒業生など約200人が集まりました。式典の中で、卒業生代表が思いを出し、児童による呼びかけの後には、会場の全員で最後の校歌を歌いました。会場に響きわたる校歌とともに、岸本小学校での思い出にひとりながら、学び舎に別れを告げました。



この学校で過ごした毎日を忘れることはありません